

医師・看護管理者と考える

医療DX：

未来に向けた 手術室看護師のキャリア開発

～安全な手術が実施できる体制構築に向けて～

医療制度の改革や医療技術の進歩により、看護師の役割も変化しています。
 これからの時代に求められる手術室看護師とは。管理者としてキャリア開発をどのように支援していくのか。
 医師と看護管理者の視点で、安全な手術が実施できる体制構築について意見交換します。



開催日時

2021年12月18日(土) 14:00~16:00

開催場所

Zoom(オンライン)

登壇者



地方独立行政法人
 広島市立病院機構
 広島市立広島市民病院
 副看護部長(兼)
 中央手術室(中)看護師長
石部 洋一 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院
 看護部 手術室業務課 師長
飛田 かおり 先生

ファシリテーター
 医療法人社団大坪会
 東和病院 看護部長
 (日本手術看護学会前役員)
平野 博美 先生

地方独立行政法人
 広島市立病院機構
 広島市立広島市民病院
 中央手術室主任看護師
今谷 智美 先生

医師
 帝京大学医学部外科学講座
 肝胆脾外科 教授

三澤 健之 先生

プログラム内容

- ・手術手技は今後どのように変わっていくか?
- ・時代に求められる自律した看護師を育成するために
- ・看護職の専門性を高めるための組織改革事例

参加費

無料

セミナー中も皆様からのご質問を
 お受けし、ご質問に対する
 意見交換を実施します!

お申し込み方法

- ① URLもしくは二次元コードから特設ページにアクセスし、必要事項をご入力のうえお申し込みください。
 申し込み締切日 12月16日(木) 特設ページ <https://www.hogy.co.jp/seminar/index.html>
- ② 追ってご登録のメールアドレスへご視聴いただく配信URLをお送りいたします。
- ③ 当日は配信URLに接続のうえ、オンラインでご視聴ください。



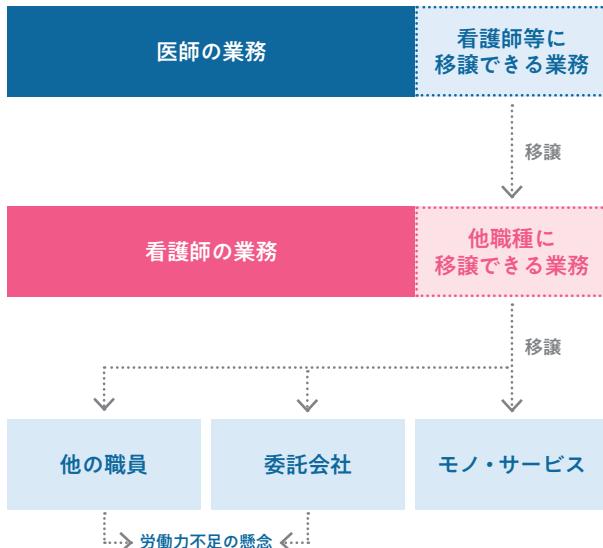
・本オンラインセミナーは医療従事者の方を対象としております。一般の方のお申し込みは、ご遠慮ください。
 ・同業者の方からのお申し込みはお断りする場合がございます。

質の高い医療が求められている今、 安全な医療のためにできること



医師の働き方改革は各職種を巻き込むため、
病院全体のマネジメントが必要です。

【タスクシフトの促進】



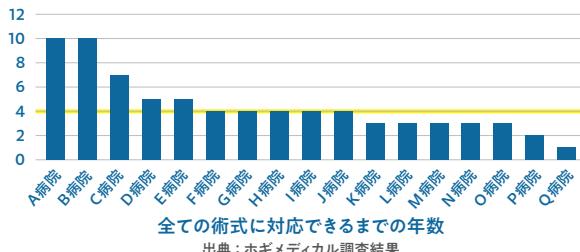
高度な技術と専門的な知識が
求められる手術室

医療の質を高めながら、
医療従事者に寄り添う
医療機関へ

『新しい仕組みづくり』へアップデートが必要です

教育への負担が
大きくなっていますか？

手術室未経験者が1人前になるまで約4年！

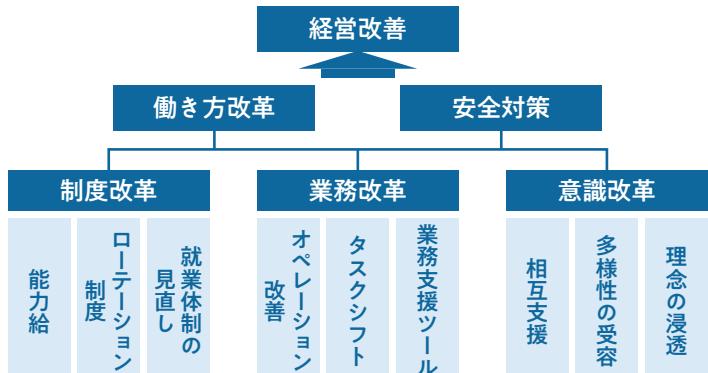


勤続年数5年未満の職員が約4割を占めている



平均勤続年数
出典：医労連 看護職員の労働実態調査報告書（2014年）

最新で安全な手術を行うため看護師の役割が拡大しています。



経験年数、職種問わず、“誰が”実施しても
“安全な医療”が提供できる手術室へ変革(DX)を